

# 新任あいさつ

校長 藤岡 隆幸

同窓会員の皆様におかれましては、御清栄のこととお慶び申し上げます。平素より本校の教育活動に多大な御支援・御協力を賜り厚く感謝申し上げます。また、このたびの創学350年記念事業に際しまして多くの皆様から多額の御寄付を頂き誠にありがとうございます。

本校の創学350年の記念すべき年に着任できましたことを大変光栄に存じます。私ども職員一同、旧閑谷学校の学びの継承のもと、同窓会の皆様がこれまでの長きにわたりつないでこられました歴史と伝統を未来に向けつないでまいりたいと存じます。また、生徒たちは昨年、旧閑谷学校で大事にされてきた3つの言葉「信・勤・儉」を自分たちの言葉として「行動憲章」にしてくれています。憲章を胸に、学校づくりや地域づくりの主体として取り組む生徒たちをしっかりと応援したいと思います。

さて、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、4月中旬から5月末まで臨時休業となるなど、授業や行事、部活動、校外の大会や交流などで、生徒が存分に活動したり楽しんだりする機会がとれないことが残念です。こうした中においても、本校では生徒一人一人がタブレット端末を持つ環境を生かし、学校と家庭をつないで、日々の様子の確認や授業動画の配信等による学習支援を行いました。学校再開後も生徒の安全を確保し、デジタルでの学びを合わせ、新たな教育活動に取り組んでいるところです。

また、現在、本校にとって持続可能な学校づくりは喫緊の課題です。昨年度から3年間、文科省の「地域との協働による高校教育改革推進事業(地

域魅力化型)」の指定を受けるとともに、県立高校で初めてコミュニティ・スクールとなりました。「『恕』の精神を持って地域と協働する探究人の育成」をテーマに、和気町・備前市・赤磐市の各自治体、商工会や

大学等の関係者と連携の枠組みを設け、他校にない特色、他校よりも充実した学びの実現に向け、カリキュラム作りに取り組んでいるところです。

併せて、特色ある教育活動を県外の中学生へも提供することとし、3年前から取り組んでいる全国募集では、今春の入学生は8人となり手応えを感じています。一方で、遠方から進学を希望される保護者や中学生にとって、寄宿環境は学校選択に当たっての重要な条件です。学校としましては、記念会館の改修に当たり、県外生受入れのための宿泊施設として活用できれば、募集に一層弾みがつくものと考えており、同窓会の皆様の御理解を賜りたく存じます。

私は、本校の置かれた厳しい状況をむしろ変革のための好機ととらえ、本校の伝統の継承と更なる発展に向け、地域や同窓会の皆様、本校職員と知恵を出し合い、活力ある和気閑谷高校を作り上げていけるよう力を尽くしたいと思っています。同窓会の皆様には、今後とも一層のお力添えをお願い申し上げますとともに、同窓会のさらなる御発展と皆様の御健勝をお祈りして、御挨拶といたします。

